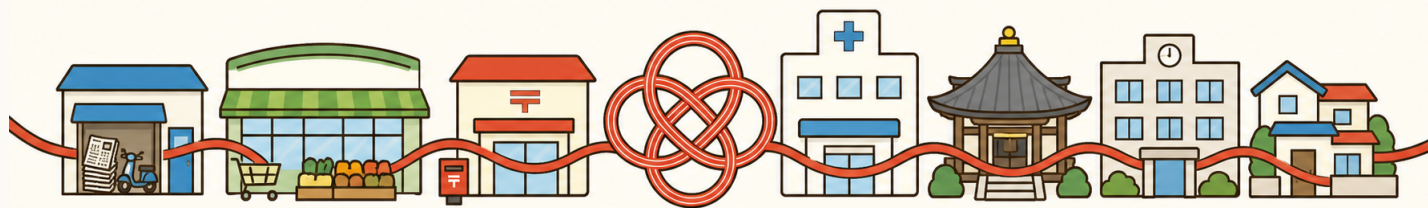


地域のむすびプロジェクト、始動します。

中日新聞販売店が主体となり、行政・医師会・地域企業とともに始める「循環型まちづくりエコシステム」



多治見・恵那地区の中日新聞販売店は、行政・医療・福祉の関係機関、そして地域で信頼される企業のみなさまと連携し、**公費（税金）に依存せず、地域全体で稼ぎながら高齢者を支える**新しい仕組みを始動します。誰もが住み慣れた地域で「長生きを喜べる社会」の実現を目指します。

1 なぜ、新聞販売店が始めるのか

- 毎日、全世帯の玄関先まで足を運ぶ**配達網** — 地域の小さな変化や「お困りごと」に最初に気づけます
- 数十年かけて築いた**社会的信用** — 「この人なら安心」と思える、顔の見える関係があります
- 役割を「情報を伝える」から、困りごとと解決を「むすぶ」へ進化させます



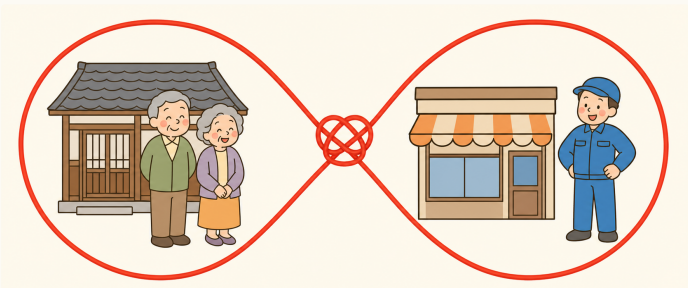
3 標準化プラットフォームを宣言します

参加事業者の**審査基準は、パートナー企業・行政関係・医師会などで構成する体制（産官学金）が策定**します。顔の見える審査を通った善良な地元事業者だけが参加できる構造で、地域で一目置かれる企業が新聞販売店とタッグを組むことで、小さな地域企業も安心して参加できます。



2 仕組み — 困りごとを、地域の仕事に

1. 住民の「ちょっとした困りごと」を新聞販売店が窓口となって受け止めます（まごころちょこっとサポート）
2. むすびサポートが整理し、**審査された地元事業者・有償ボランティア**へおつなぎします
3. 活動した実績（成果）に対して費用（対価）が支払われ、お金が地域の中で循環します



4 パートナー・協賛企業を募集します

パートナー事業者	10社（地域の中核企業・産官学金）
協賛事業者	30社目標（地元の商工事業者）
協賛費	年額110,000円（税込） ／1社 — 地域活動費として地域に還元
特典	折込広告PR 年4回＋仕事の優先紹介＋CSR/CSV活動としての発信

地域の課題を「資源」に変え、誰もが「長生きを喜べる社会」を、一緒に。

まごころちょこっとサポート運営事務局

中日新聞販売店 株式会社両藤舎（多治見市虎渓町1丁目31）

TEL 0572-22-3500（受付 10:00～16:00 ※新聞休刊日と土日祝を除く）

事業サポート：むすびGroup／合同会社むすびdesign TEL 070-4497-0111